

平成 31年 07月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成31年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

福幸の家

グループの名称

きつつき会

直近採択グループ番号

07-0758-0145

(グループ代表者)

代表者名

柳沼 利保

代表者印

代表者所属先

有限会社柳沼工匠

代表者所在地

福島県郡山市田村町御代田字中平52

代表者電話番号

024-955-3908

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社スミ建

事務局担当者名

坪井 道子

印

事務局郵便番号

963-8041

事務局所在地

福島県郡山市富田町諏訪西70

事務局電話番号

024-962-9850

事務局FAX

024-962-9852

事務局担当者E-mail

inform@kabu-tsuboi.com

グループ基本情報・事務局体制・グループ構成

グループ名称	きつつき会		
H30採択グループ番号	07	—	0758 — 0145

グループの基本情報

1. 地域型住宅の名称(必須)	福幸の家		
2. グループの名称(必須)	きつつき会		
3. 結成年(必須)	2006	年	
4. グループHPの有無(必須)	無		
5. グループHPのURL(有の場合必須)			
6. H30採択グループ番号(必須)	07	—	0758 — 0145
7. グループの特徴	<p>きつつき会は、福島県を中心にした大工集団で、時代に追従した建築を勉強したり、大工技術の伝承に力を入れたりと活発に活動している。最近では、温熱環境の勉強に力を入れ、高気密高断熱住宅にするための間取りや断熱材、設備機器等の座学での勉強、そして、現場施工等の技術研修も行っている。</p> <p>また、消費者の方々向けの現場見学会を各々で行い、地域の方々の良い家づくりのノウハウを説明している。技術者の減少が顕著な中、地域に根差した大工集団としての役割を重んじ、今後も大工技術の伝授に更に磨きをかけ、地域の方々のお役に立っていきたい。</p>		
8. 代表者氏名(必須)	柳沼 利保		
9. 代表者の所属先(必須)	有限会社柳沼工匠		
10. 代表者所在地(必須)	福島県郡山市田村町御代田字中平52		
11. 代表者電話番号(必須)	024-955-3908		
12. 事務局事業者名(必須)	株式会社スミ建		
13. 事務局担当者名(必須)	坪井 道子		
14. 事務局郵便番号(必須)	963-8041		
15. 事務局所在地(必須)	福島県郡山市富田町諏訪西70		
16. 事務局電話番号(必須)	024-962-9850	17. 事務局FAX番号(必須)	024-962-9852
18. 事務局担当者E-mail(必須)	inform@kabu-tsuboi.com		

グループの事務局体制

19. 事務局業務の外部委託の有無	無	20. 委託先業者名	
21. 専任担当者の配置の有無	無	22. 委託先担当者名	
23. 担当者連絡先(携帯電話)	---		
24-1. 事業者の認定申請サポート体制の有無	無	25-1. サポートを行う認定申請名	
24-2. 事業者の認定申請サポート体制の有無		25-2. サポートを行う認定申請名	
24-3. 事業者の認定申請サポート体制の有無		25-3. サポートを行う認定申請名	
26. グループ内情報共有手段の有無	無		
27. 情報共有の手段			

グループの構成

構成員	構成員数	構成員に含まない理由	
I. 原木供給	2	海外事業者から原木を調達するため、原木供給事業者名を特定できない	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4		
III. 建材流通 (木材を扱わない事業者を除く)	2		
IV. プレカット	1		
V. 設計	4		
VI. 施工	26		
VII. 木材を扱わない流通	1	●	
VIII. I～VII以外の業種	1		

使用する地域材・要望戸数・申請実績

グループ名称	#VALUE!			
H30採択グループ番号	07	—	0758	— 0145

使用する地域材

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称		地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下の1、2、3、4の番号を番号記入欄に表記。	番号	国内・国外
	<input checked="" type="checkbox"/>	合法木材証明制度を利用する		国産材	1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度 (FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(H18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品 (合法伐採木材等証明)	3
<input checked="" type="checkbox"/>	合法木材証明制度を利用する		外材	3		国外
<input type="checkbox"/>	PEFC認証制度を利用する		国産材	2		国外
<input type="checkbox"/>	PEFC認証制度を利用する		外材	2		国外
<input type="checkbox"/>	SGEC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	FSC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	FSC認証制度を利用する		外材	2		国外
<input type="checkbox"/>	FIPC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	クリーンウッド法に基づく証明		国産材	4		国内
<input type="checkbox"/>	クリーンウッド法に基づく証明		外材	4		国外
	福島県産木材証明制度		福島県	県産木材証明制度	1	国内
	とってお木		福島県	福島県ブランド材認証「とってお木」	1	国内

今年度の希望戸数

B. 2019年度における補助 対象の木造住宅の申請要望戸数 (地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数は内数を記載)	タイプ		経験/未経験	要望戸数	内、地域材加算	内、三世代加算	
	長寿命型 長期優良住宅	長期優良住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	29 戸	29 戸	3 戸
10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)				17 戸	17 戸	3 戸	
未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数			今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	43 戸	43 戸	2 戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	19 戸	19 戸	1 戸	
認定低炭素住宅			経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	5 戸	5 戸	0 戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)	2 戸	2 戸	0 戸
		未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	10 戸	10 戸	1 戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	4 戸	4 戸	1 戸	
		高度省エネ型 性能向上計画認定住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	6 戸	6 戸	0 戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)	3 戸	3 戸	0 戸
未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数			今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	12 戸	12 戸	0 戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	4 戸	4 戸	0 戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数		今年度、交付申請の要望をする戸数(上限125万円)	0 戸	0 戸	0 戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)	0 戸	0 戸	0 戸	
未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限140万円)	36 戸	36 戸	4 戸			
	10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)	12 戸	12 戸	2 戸			
優良建築物の申請棟数			交付申請が確定	0 棟	0 m ²		

平成30年度の実績

C. 平成30年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択額	2430	万円	交付申請額	1700	万円	完了実績(竣工予定含む)額	1700	万円
	高度省エネ型								
	採択額	740	万円	交付申請額	530	万円	完了実績(竣工予定含む)額	530	万円
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択額	405	万円	交付申請額	280	万円	完了実績(竣工予定含む)額	280	万円	
優良建築物型									
採択額	0	万円	交付申請額	0	万円	完了実績(竣工予定含む)額	0	万円	

D. 前年実績
(達成・未達成)
に対する理由

長期優良住宅に関しては、従来通り、促進することができた。しかし、完成が間に合わないとの不安から、最後の最後に諦めた工務店がいた。また、ゼロエネルギー住宅の促進がなかなか進まず、怖がらず取り組めるよう、今年度はしっかり勉強して、まずは、やってみる、と言う風習を根付かせたい。

